

ふるさとだよ

よしき

FURUSATO DAYORI YOSHIKI



吉敷の木
「もみじ」

吉敷の花木
「うめ」

吉敷の草花
「マリーゴールド」

吉敷の草花
「サルビア」

2018

8

No. 749



夏休みの宿題 がんばって描いたよ!
こども絵画教室



地域を守る男たち!
市消防団消防操法大会



ママ〜わたしにもちょうだい
そうめんパーティー

CONTENTS

インフォメーション..... 2

【トピックス①】

行きかう人々に潤いと安らぎを
「ふれあい花壇」を整備しています..... 4

【トピックス②】

わくわくファームらんどが順調
夏・秋の交流会も企画..... 4

【シリーズ歴史①】

吉敷の町内会..... 5

今月の吉敷人..... 5

レポート..... 6

【シリーズ地名①】

町名の由来(その三)..... 7

【よしき四方山ばなし①】

臨水の制度..... 7

イベントカレンダー..... 8

かけはし..... 8

よしき人

YOSHIKI
DATA

【人口】14,749 (前月比 +12) 【世帯数】6,221 (前月比 +15)

平成30年7月1日現在



インフォメーション

つどいの広場「楽楽楽」講座

「親子でストレッチ」

音楽に合わせて親子で体を動かしましょう。3日(ボール、ベルダー、ベル)を使つての体操もありますよ！

【とき】8月10日(金)10時～11時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【講師】木本直美氏

【対象】未就園児と保護者 10組(先着順)

【託児】有(要申込み)

【参加費】一組200円(託児代込み)

【準備】飲み物、タオル、室内シューズ

【申込・問い合わせ】つどいの広場「楽楽楽」

☎083-928-0035

人権学習講座

加齢にともなう心身の変化について学び、より良い生活を送るためのヒントになる講座です。この機会に学んでみませんか。

【とき】8月22日(水)13時30分～15時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【演題】高齢者の問題

【講師】田中マキ子氏(山口県立大学副学長)

【定員】10名程度

【申込締切】8月15日(水)

【主催・申込】市人権推進課

☎083-934-2784

ブックスタート体験会

絵本に関心を持ち始める時期の乳児とその保護者を対象に、絵本を無料で贈呈する「ブックスタート体験会」を開催します。

【とき】9月3日(月)10時～12時

【場所】地域交流センター 和室

【申込】不要

【問い合わせ】市立中央図書館

☎083-901-1040



ホタル放流のつどい

良城小学校ホタル委員の児童による、6月のホタル採取から放流までの飼育経過の発表や、ホタル俳句の表彰をします。

終了後は、吉敷川良城橋付近に移動してホタルの幼虫を放流します。地域の皆さんも気軽にお越しください。

【とき】9月5日(水)15時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【申込】不要

【主催・問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-922-3344

やまぐち車座トーク21 吉敷

今年度も地域の皆さんと市長が直接対話を行う「やまぐち車座トーク21 吉敷(移動市長室)」を開催します。

【とき】10月4日(木)18時30分

【場所】地域交流センター 講堂

【申込】不要

【内容】市政報告、意見交換

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-33915

吉敷ベタンク同好会

吉敷ベタンク同好会では、7月から練習日を毎月第1・3月曜日の2回とし、練習に励んでいます。どなたでも参加できますので、一緒に銀の玉を投げ合い、楽しみませんか。なお、日程が変わることもありますのでイベントカレンダーで確認してください。

【時間】8時30分～11時頃

【場所】上東第2公園

【問い合わせ】吉敷ベタンク同好会(地区社会福祉協議会内)

☎083-922-3344



練習の様子

地域交流センター新刊図書案内

- ・一生使える1作りおきおかず大全 (武蔵裕子)
- ・うまれてきてくれてありがとう (にしもとよう)
- ・ぼくのニセモノをつくるには (ヨシタケシンスケ)

法定外公共物等整備事業

山口市では、里道や水路など法定外公共物の補修・機能向上・浚渫等を行う地元関係者に対して、経費を補助する事業を実施しています。

平成30年度事業の二次募集にあたり、条件等もありますので、まずは地域交流センターにご相談のうえ、期限までに申し込んでください。

【申込期限】9月26日(水)

【問い合わせ】地域交流センター

☎083-922-33915

反射鏡設置等事業

地域づくり協議会では、交通事故防止のため、反射鏡の新設・補修、ポールなどの交通安全施設の設置等を実施しようとする町内会等に対して、経費を補助する事業を実施しています。

平成30年度事業の二次募集にあたり、条件等もありますので、まずは町内会等を通じてご相談のうえ、期限までに申し込んでください。

【申込期限】9月26日(水)

【問い合わせ】地域づくり協議会

☎083-922-3344

よしきフォトコンも開催中！
祭りの写真を撮って
コロッケ無料ゲット！

8/13(月)

よしき 夏まつり

18:00より開会
(小雨決行)

- ・進行の都合上、多少の時間変更があります。
あらかじめご了承ください。
- ・駐車場はありませんので、車以外の交通手段で
ご来場いただきますようお願いいたします。

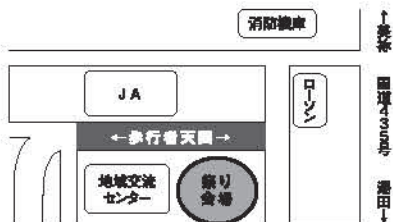
昨年の夏祭りの様子

プログラム

- 18:00 開会イベント
18:20 オープニングダンス
18:25 第2回 H-1グランプリ
～今年も霊長類最強の
尻が決まる！～
19:00 鳳凰太鼓
19:30 盆踊り
20:15 レノ丸じゃんけんチャレンジ
20:30 お楽しみ抽選会
21:00 閉会

当日の交通規制

夏祭り開催のため、17時30分から21時まで下記の区間が歩行者天国となります。ご理解とご協力をお願いします。



金魚の無料配布

雨で夏祭りが中止の場合は無料で金魚を配布します。

【とき】8月14日(火)
10時～12時

【場所】地域交流センター



切り取り

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名

ふりがな
氏名

【受付時間: 18時～19時45分】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名

ふりがな
氏名

【受付時間: 18時～19時45分】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名

ふりがな
氏名

【受付時間: 18時～19時45分】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

<お楽しみ抽選会> 応募券

町内名

ふりがな
氏名

【受付時間: 18時～19時45分】

- ・本券に町内名と氏名を書いて、ステージ横の受付にお持ちください。
- ・応募はお1人様1枚限り有効です。

トピックス 1

行きかう人々に潤いと安らぎを 「ふれあい花壇」を整備しています

吉敷地区環境づくり推進協議会では、吉敷まちづくり計画の活動目標「美しい自然をみんなで守る快適なまち」のもと、環境美化活動の推進や、自然環境の保全に取り組んでいます。

商工振興会の皆さんとともに 地域の手カラを結集して

こうした中で、吉敷地域を行きかう人々に潤いや安らぎを与え、環境美化意識の醸成につながればと、旧吉敷出張所・公民館跡地に花壇を設置しました。また、良城商工振興会の皆さんの協力を得て、開花時期の異なる3種類のつつじ約40本を植栽しました。



良城商工振興会の皆さんが大奮闘

「ふれあい花壇」と名付けて 四季折々の草花を植栽

普段は、地域交流センターの臨時駐車場として使用している跡地ですが、吉敷地域のシンボリックな場所の一つであり、今後の地域振興のために効果的な活用が期待されています。

こうしたことから、この花壇を、多くのふれあいや交流が生みだされることを願って「ふれあい花壇」と名付け、今後も引き続き四季折々の草花を植栽していきます。



ふれあい花壇

一緒に活動していただける方を 募集しています

環境づくり推進協議会では、一緒に活動していただける方を募集しています。私たちが暮らす吉敷地域のため、あなたも活動に参加してみませんか。

問い合わせ 環境づくり推進協議会
083-9221-3344

トピックス 2

わくわくファームらんどが順調 夏・秋の交流会も企画

本年6月に開園した「YOSHIKIわくわくファームらんど」では、収穫を向かえる夏野菜が順調に育っています。

実行委員会では、収穫した野菜を活用して若者・現役世代の交流イベントを計画。企画会議を進めています。

秋の収穫に向け酷暑にも耐えて サツマイモはすすすす

受講生家族は、秋のサツマイモ収穫に向けて、ペットボトルに水を汲み、日々ファームらんどへ通っています。各家庭の畑には徐々に管理の差もできていますが、大雨や酷暑にも耐え、すすすすと育っています。

夏の交流会の材料とするため、実行委員会では、バジルやトマトなどの11品目を栽培しています。



良城小学校体育館を背景に

現役世代の交流のために 夏・秋に交流会を開催

吉敷地域の若者や現役世代の交流を生みだしていくため、夏と秋に収穫した野菜を活用し、受講生や同じく現役世代の実行委員で交流会を開催します。8月18日(土)には、収穫した夏野菜を使ったピザづくり交流会には、ドラム缶ピザ窯が3台登場します。



愉快的な実行委員



スイカも成長中

ファームらんどは、良城小体育館近くの吉敷佐田四丁目4番の一区画にあります。来年度も継続して事業を行う予定です。自由に見学してください。

吉敷の町内会



旧吉敷出張所・公民館

明治四年（一八七二）に廃藩置県が行われると、これまでの庄屋制度という村を治める組織も順次変更されていった。

明治十一年（一八七八）に郡区町村編成法が成立すると、中尾村、吉敷村は、それぞれ吉敷郡中尾村、吉敷郡吉敷村となり、明治二十二年（一八八九）の町村制の施行で正式に吉敷郡吉敷村となった。

この年の最初の選挙で初代の村長、村会議員が選出され、この村議会で吉敷村内を中尾東区、中尾西区、畑区、赤田区、佐畑区、上東区、下東区、中村区の八区に分け、各区に区長と代理人を置き、村政の円滑な運営を図ることになった。

大正期に入って、中村区から一部を分離し木崎区を設け、昭和四〇年頃までこの区制が続いた。

昭和三年、山口町より市制施行のため、吉敷に合併の働きかけがあった。地元では、賛否を問う村民大会が開催され、次の覚書（抜粋）でもって昭和四年に合併した。

・小学校舎の改築、運動場の拡張
・県道山口大田線の改修

・村有林は特別林野として地元運用
これより、これまでのなじみもあり山口市中尾、山口市吉敷とした。

合併後、吉敷の自治組織として、「吉敷公益会」が組織され、吉敷出張所を中心として、行政に対する地区の最高議決機関としての役割を担った。

昭和十五年、全国的に区制が「町内会制」に改正されると、吉敷公益会は「吉敷自治会」に改組され、各町内会は構成メンバーとなった。この時、中尾東町内会は、中尾東上、中尾東下に分離した。

昭和四〇年以降、急速に開発が進み、緑ヶ丘、稲葉町、上東住宅団地、京面団地、大橋町、木崎団地（一時湯田大橋町があった。）が順次町内会・自治会として組織され、現在に至っている。

（高橋文雄著「良城小学校百年史」等より）

 よしきびと
今月の吉敷人

No. 038

 なかむら ちえり
中村 稚恵利 さん (40)

まつり実行委員



昨年の夏祭り、レノファ山口の浴衣を着て司会を務めていたのが中村稚恵利さん。実はケーブルTVのアナウンサーで、お茶の間でも人気者だ。

学生時代は言語構造について学び、バンドサークルのドラマーとして活動する女子大生だった。転機は、防府市主催の「ミス防府」に就任したこと。yab県政番組に学生レポーターとして出演することになり、これが放送業界との接点になった。

大学卒業後、山口ケーブルビジョンに就職。新人時代は、まさかのバラエティ班に所属し、「藤原バナナ店」等の制作に携わる。吉敷に移り住み、約3年は育児にも奮闘。そうした中、たまたま同じく祭り実行委員の知人から地域行事に巻き込まれることになった（笑）「年齢とともに魅力も重ねていけるような生き方をしたい」とのこと。地域を舞台に彼女の挑戦が楽しみだ。（広報委員：松永）

昭和53年、防府市生まれ。赤田在住。夫、息子、2匹のハリスズミと暮らす。夜景鑑賞士3級、カラーセラピストの資格を保有。好物は肉全般。自分が出演したTVは「見ない派」。

 よしきびと
今月の吉敷人

No. 036

 ますの じゅんいち
増野 淳一 さん (59)

良城小学校 校長



良城小2年目を迎え、幸せな毎日を過ごしています。教職最後の学校の校長として、子どもたちのために自分の全てを出し切り、「楽しくてたまらない良城小学校」を地域の皆さんと共に創って参ります！

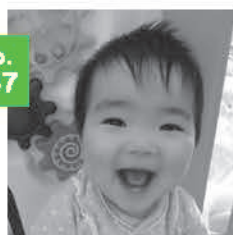
宇部市上宇部出身。平川在住。現在は妻と2人暮らし。

 よしきびと
今月の吉敷人

No. 037

 すがなり こころ
菅成 虹心 ちゃん (1歳1ヵ月)

赤ちゃん



昨年、我が家にやってきてくれました。虹のような美しい心で育って欲しいと名づけました。新米親子でつどいの広場「楽楽楽」でお世話になりながら、すくすくと成長中。これから楽しみ満載です。

英秋さん、清美さんの長女。佐畑在住。

レポート

伝統文化に触れる喜び

6月20日(水)、「伝統文化吉敷いけばなこども教室」が開催されました。これは、池坊山口支部の村田美代子さんを講師に、毎年6月から計10回、活け花のお稽古や展示をする教室です。伝統文化に触れる良い機会ですね！



イザッ!という時のために

6月29日(金)、「小児救急講座」を開催しました。市消防本部職員を講師に、お母さん方は、いざという時の対応方法や幼児向けの心臓マッサージ等を学びました。大切なわが子を守るために、真剣に学びましたよ。



正確に！迅速に！団員たちの戦い

7月1日(日)、県消防学校で、「市消防団消防操法大会」が開催されました。市内33分団が参加するこの大会は、選手5人1組で競われ、指揮者の号令のもと、小型ポンプで水を汲み上げ、3本のホースをつなぎ、筒先から放水して火点を倒す競技です。操法の正確さ、迅速さが審査されます。



吉敷分団は、5月から行っている訓練の成果を十分に発揮し、見事第6位に入賞しました。

今年は、9月15日(土)に、同所で開催される「県消防操法大会」に市を代表して出場します。毎週火曜日、木曜日には、地域交流センターで訓練を行いますので、応援をお願いします！



ツルつとのどごし 美味しいな♪

7月11日(水)、つどいの広場「楽楽」で、「そうめんパーティー」が開催されました。

夏といえばやっぱりそうめん。初めての流しそうめんに戸惑う子どもたちもいましたが、流れてくるそうめんや、ミニトマトを一生懸命すくい、ツルつとしたのどごしを堪能しました。



おかずは標識と反射鏡☆

ふれあい型給食会が月に一度、見守り活動を兼ねて弁当配達する「ふれあい給食」。7月19日(木)、夏の交通安全県民運動に合わせ、「交通安全弁当」として交通安全・防犯対策協議会もお弁当配りに加わり、交通安全と詐欺防止を呼びかけました。



夏休みの宿題といえば「絵」

7月23日(月)、25日(水)の両日、佐々木範子さんを講師に、「こども絵画教室」を開催しました。

夏休みの宿題の定番といえば「絵」。地域交流センター夏休み講座の第一弾も、みんなで一緒に絵画に挑戦することとし、2日間で40名の児童の参加がありました。



参加した児童は、事前に描くテーマを決めて、参考になる図鑑や写真、おもちゃを持ってきて、花火や動物園の風景など立派な絵が描けました。

「将来の夢は漁師なの!」と教えてくれた1年生の田村董ちゃんも、可愛らしいお魚釣りの絵を描いて満足願でしたよ！



シリーズ 地名

8 「町名の由来(その二)」

稲葉町(イナバチヨウ)は、「稲庭」「稲場」、つまり「稲干場」のことで、稲を干す場所としたものである。江戸時代から「稲葉」は小字としてあった。

小字は、番地がない頃、日常生活の中で、ところを理解し易くするために使われてきたものである。

また、「稲葉」は、神社の田に、関係があるとも言われることから、土師八幡宮との関りも推測される。



土師八幡宮

京面団地(キヨウメンダンチ)は、山口県内には「経田」と言って「読経料として寺に寄進された田」があるが、ところにより「経免」「京免」「経面」と書くこともあるそうだ。

ここ京面と関わる寺は分らないが、昔から小字として使われてきた地域である。



京面団地

大橋町(オオハシチヨウ)は、湯田大橋に近いことから名付けたものであろう。

小字に「能瀬」「馬渡」など川に関わるものがあるが、新しく開発したことから、環境に配慮してできた地名であろう。

一時、湯田大橋町という町名があったが、同様に考えられる。



湯田大橋

(高橋文雄著「良城小学校百年史」等より)

よいき 四方山 ばなし

Vol. 5

「臨水の制度」

その年は田植えが終わって一ヶ月も経つのに雨が降らず、どの田も乾き、亀裂ができていました。村人は、「自分たちの田はさておき、妙法寺の田だけでも守りたい。」と畔頭に相談しました。それに心を打たれた和尚が、「わしに思うところがある。赤田から奥の方

名主と村役人を集めて、「水が足らずに困っているときは、お互いに譲り合って、水の無い方に水を回すようにしてはどうか。」と提案しました。

もったもな提案に不服を言う者はいませんでした。そして、「田植えが済んで四十日も雨が降らない時は、四の宮より奥の井出を全て落として、木崎付近の田に一通り水が行き渡るまでそのままにする。さらにその後も雨が降らないときは十日ごとにそのようにする。」という取り決めを行います。

の田の水を見てきてくれ。」と言いました。

村人は何のことか分からないが、和尚の言うとおりに見に行くと、赤田から奥の方に行くにつれて田んぼにも溝にも水があつて、稲も青々と育っていました。

それを聞いた和尚は、どこまでも出かけて行き、夕方になって「近いうちに水が来るかもしれんぞ。」とニコニコして帰ってきました。しばらくたつたある日のこと、地頭が家来を連れて妙法寺にやってきました。そして東村と西村の

た。臨水の制度の始まりです。

その後、木崎にあった妙法寺は火災で消失し、この取り決めも時代の流れで少しずつ変化していますが、その精神は今でも受け継がれているとのことだ。



妙法寺の跡

1 水	●こども陶芸教室 10:00～12:00
2 木	●大内塗「簗」づくり体験教室 10:00～12:00 ●町内会長会 18:30～
3 金	●スペインサマースクール 14:00～16:00 ●夏休み青少年見守り夜間巡回 21:00～
4 土	●夏休み青少年見守り夜間巡回 21:00～
5 日	
6 月	●吉敷ベタンク同好会練習 8:30～ P.2
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	●楽楽楽「親子でストレッチ」 10:00～11:30 P.2
11 祝	
12 日	●レノファ山口 VS 徳島 19:00～ (維新公園)
13 月	●よしき夏まつり 18:00～21:00 P.3 ●よしきフォトコン写真教室 18:30～ P.3
14 火	
15 水	
16 木	●広報委員会 17:00～
17 金	●夏休み青少年見守り夜間巡回 21:00～
18 土	●YOSHIKIわくわくファームらんど 10:00～ ●レノファ山口 VS 京都 19:00～ (維新公園) ●夏休み青少年見守り夜間巡回 21:00～
19 日	

20 月	●吉敷ベタンク同好会練習 8:30～ P.2
21 火	
22 水	●市人権学習講座 13:30～15:30 P.2
23 木	●ふれあい給食 ●子宮がん検診 13:20～13:50 (受付時間) ●大腸がん検診 15:10～16:10 (受付時間)
24 金	
25 土	
26 日	
27 月	●楽楽楽「誰でもどうぞの日」 10:00～15:00
28 火	
29 水	●吉敷老連ベタンク交流大会 8:30 ●大腸がん検診 9:30～10:20
30 木	
31 金	

9月のおもなイベント

2 日	市民体育大会 8:30～
3 月	ブックスタート体験会 10:00～12:00
5 水	ホテル放流のつどい 15:30～
11 火	あいさつの日
12 水	母子相談 13:00～14:30 (受付時間)
20 木	ふれあい給食
22 土	お月見団子づくり 10:00～12:00

「情報のキャッチボールを!!」

私は40年前、吉敷のタウン紙づくりに関わっていました。時が経って今、老人クラブを代表して広報委員となり、同じような感覚を味わっています。

当時の吉敷は、スポーツ面では市内の他地域から遅れをとっていました。吉敷を元気にという思いで、新参者の私は、地域の野球愛好者に声をかけ、ソフトボールのチーム「吉敷クラブ」を結成しました。現在も健在です。

チームは会則どおり、地域の行事に積極的に参加しました。さらに、文化面でも進んで活動しようということで、タウン紙づくりを手がけました。タイトルは「よしきホットライン」。

地域の普段着の記事、住民の口となり耳となり、読者が受け手だけでなく送り手でもある紙面づくりに徹しました。内容は、地域の行事やエピソード、小さな出来事、暮らしの知恵、生活問題、こどもの詩、ポートレート(女性)、歴史シリーズ、グループ紹介などで、現在の「ふるさとだよりよしき」とほぼ同じです。

色々と苦労を乗り越え、みんなで知恵を出し合った力が、懐かしく思われます。今も脈々と受け継がれていることに感謝と感謝!

広報委員 藤井保行

[発行・編集]

吉敷地区広報委員会 (〒753-0816 山口市吉敷佐畑一丁目4番1号)
☎083-922-3915 吉敷地域交流センター(地域担当)
☎083-922-0668 吉敷地域交流センター(行政窓口担当)
☎083-922-3344 吉敷地区地域づくり協議会

吉敷地区地域づくり協議会 ウェブサイト
<http://www.yoshikibito.com/>

吉敷地区地域づくり協議会

検索

